株主・機関投資家との対話の実施状況（2026 年 3 月期）

（１）株主との対話の主な対応者

代表取締役、取締役、IR 担当取締役の出席の元、各四半期の決算説明会をオンラインで開催しました。

名古屋証券取引所主催の個人投資家向け IR エキスポへの参加、および株主・機関投資家との個別 IR 面談（オンライン）では、ほぼすべての対話において、IR 担当取締役が対応をしました。

（２）対話を行った株主の概要

居住地別の内訳は国内 142 件／海外 28 件（のべ件数）であり、担当分野別では、ファンドマネージャー36 名、アナリスト 92 名です。

＊居住地、担当分野、および人数につきましては、ご本人様／アレンジャー様等から案内いただいたお役職／肩書などの情報に基づいて集計しております。またオンライン面談において、同席／参加された方などは人数に含めておりません。

（３）対話の主なテーマや株主の関心事項

資本政策・配当、株価、ROE、事業計画の進捗、市場環境、新規事業、事業の成長戦略、業界動向が挙げられます。

（４）フィードバックの実施状況

質疑応答録やよくあるご質問、関心事項については、適宜、役員連絡会や事業会議、事業担当役員または部署と共有しています。

また説明会の動画や質疑応答について、当社ホームページでも公開しております。

（５）その他

決算情報の漏洩を防ぐため、当社が定めるサイレント期間中は、決算等に関するコメントを差し控えることから、投資家・株主様との対話は原則行いません。

一方で、サイレント期間中であっても、業績に影響を及ぼす決定事実や発生事実が生じた場合は速やかに適時開示を実施いたします。